

パトリスティカ

——教父研究——

巻頭言	水落 健治	2
キリスト教修道制の成立—隠修制と共に住制—	戸田 聰	6
修道制における隠修士の意義		
—その東方的起源と西方的展開—	桑原 直己	23
アウグスティヌスにおける「音楽」の概念		
—「魂論」としての『音楽論』—	樋笠 勝士	44
鳴り響く永遠真理		
—アウグスティヌス的数理思想の17世紀的展開—	名須川 学	85
身体を張る (extendere) アウグスティヌス		
—『告白』における distendere, continere, extendere をめぐって—	宮本 久雄	103
【加藤信朗著『アウグスティヌス〈告白録〉講義』書評会記録（続）】		
書評会における討論		132
アウグスティヌス文学のヘブライ的地平		
—『告白録』第1～9卷における		
「キアスマス(交差対応的配列法)」構造—	宮本 久雄	142
教父研究会活動報告		149
編集後記		150
『パトリスティカ』既刊号目次	(1)	